



▲円形馬場を疾走する馬に、若衆が素手でつかまり人馬一体となって駆けめぐります。

※10/15号表紙の紹介でおまんとを「市指定無形文化財」と表記しましたが正しくは「市指定無形民俗文化財」です。お詫びして訂正いたします。



▲神馬が馬場を周回し、祭りが始まります。

おまんと

毎年10月に行われる「おまんと」は、たかはまの祭礼であり、法被（はっぴ）に地下足袋姿の若者が、円形に組んだ馬場で、鈴や飾り花を背負って疾走する馬に飛びつき、人馬一体となって駆け回る勇壮なおまつりである。

なかでも春日神社境内での「おまんと」は市指定無形民俗文化財にも登録されている。

祭礼前日には、各町の若衆たちが馬といっしょに町内への礼廻りを行い、お囃子の「チャラボコ」を鳴らしながら、まち全体で祭りのボルテージをあげていく。

祭礼には雨乞いが深くかかわっているとみわれ、祭りの節々にそのようすが垣間見える。祭礼初日の早朝に行われる竜宮祭は、竜宮（海の神、水の神）に豊漁と雨乞いを祈願した神事とされている。

背に神様のよりしろ（神霊が宿るもの）となる飾りを載せ、飾り馬具をつけた神馬が馬場を周回し、祭礼がはじまる。疾走する馬にタイミングを合わせて飛びつきつかまり必死に駆けめぐる姿に観客は熱狂する。本連載第18回に掲載したように若者たちのなかには、腰にカラフルなりリアン糸で細かい模様を編みこんだおまもりを下げている人もいる。おまんとは無事を祈る「おまもり」である。

たかはまの粋な男たちに来年も魅了されることであろう。

“撮っておき” の たかはま

【第93回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、
有形・無形を問わず、
高浜市の日常の暮らしの中にある
とっておきの「お宝」を紹介します。

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月、「高浜市が育てていきたい子どもの姿」をこのコーナーで紹介していきます。

11月〈学習習慣 ～学習の心構え～〉

〈めざす年長児〉いろいろなことにきょうみ・かんしんをもち、やってみます。

〈めざす小6生〉友達の考えを大切にし、自分の意見をわかりやすく伝えます。

〈めざす中3生〉友達に考えを聞いて、自分の考えに生かします。

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

いきいき広場内教育センターグループ ☎52-1111（内線311）



LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は25ページ

早期配布にご協力ください。